# マイクロフィルムの今後の取扱いについて

令和７年９月総務局行政部　資料３

## ①　本市のマイクロフィルムの状況

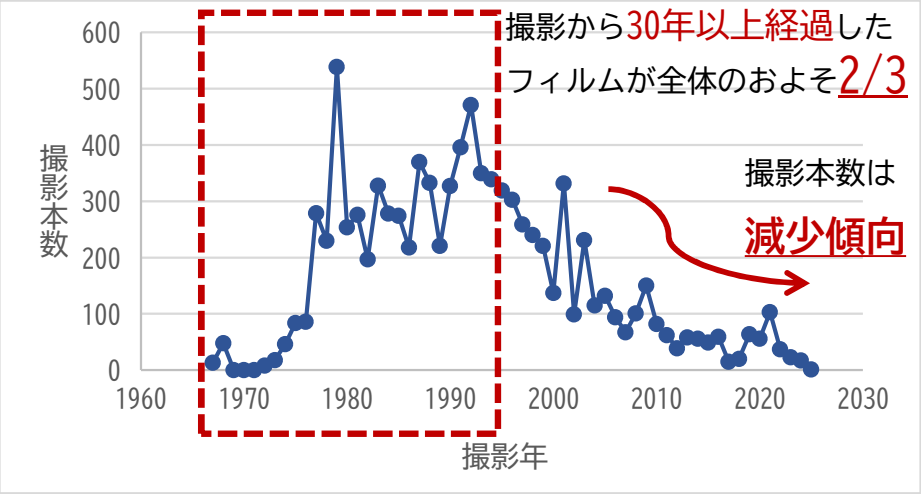
・マイクロフィルムは、市役所地下２階のマイクロフィルム室にて一定の室温、湿度を保ち集中保管

・集中保管している**フィルム総数**は**9,527本**

・近年は、デジタル化の進展により**新規撮影は減少傾向**

・撮影後、**30年以上経過**しているフィルムは**6,302本**存在

・定期的な劣化調査により、毎年度数本程度、複製を実施。ただ、保存しているキャビネット内によっては、いまだに酢酸臭がするものもあり、**劣化が進んでいるフィルムが存在**していると推測




## ②　マイクロフィルムを取り巻く課題

・令和７年末をもって、マイクロフィルム製造の国内大手である富士フィルム㈱が生産終了することを発表

・今後、**新規撮影や劣化したフィルムの複製が困難**な状況

市民共有の財産である保存すべき文書が失われないよう対応が必要

## ③　対応の方向性

○マイクロフィルムの**新規撮影を停止**。今後はPDF等の**電子文書で保存**

| | |
|---|---|
| **令和７年度** | 既に撮影準備に取り掛かっている等のやむを得ない場合を除いて、新規撮影は停止 |
| **令和８年度以降** | 新規撮影はすべて停止 |

○保存しているマイクロフィルム文書のうち、**市政上重要な公文書である文書や原文書を廃棄している文書はマイクロフィルムから原則データに媒体変換**を行い、その内容を保存。なお、データ化実施前に、随時廃棄文書として廃棄が可能かどうか、すべてのマイクロフィルムを対象に必要な精査を実施

## ④　スケジュール

